

地域のわ通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

第4期 神奈川区地域づくり大学校

第5講

自分の思いをデザインする

地域に夢を描こう



第5講では、まちづくりコーディネーターの山路さんから講義「良い企画づくり」を受け、その後の個人・グループワークを含めて、前講で構想を練った「夢プラン」シーターの完成を目指しました。「夢プラン」のテーマ（地域課題）別のグループに分かれ、お互いのプランを共有し、意見交換しました。グループワークの合間には、山路さんからグループごとに個別アドバイスをもらい、また、地域づくり大学校の1～3期の卒業生にもグループに入ってもらい、そのアドバイスは、「夢プラン」のブラッシュアップの大きな力となりました。

第5講概要

日時：1月19日（土）9:30～12:30
場所：神奈川区役所
主催：神奈川区連合町内会自治会連絡協議会
認定NPO法人市民セクターよこはま
神奈川区役所
協力：社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会
受講者：19名（第4講参加は15名）

当日のプログラム

- 講義「良い企画づくりのポイント」
講師：山路 清貴氏
- グループワーク（夢プラン制作ワーク）
グループ別相談タイム・清書タイム
- 山路先生より総括的アドバイス

■ 講義「良い企画作りのポイント」 (まちづくりコーディネーター 山路 清貴 氏)



はじめに、講師である山路さんから、「夢プラン」の書き方についてレクチャーがありました。ここでは3つのポイントをご紹介します。

①企画シートの書き方

言いたいこと（結論）から記しているかが重要。専門用語は使わず「自分の言葉」で書くことで自分が実行したくなり、目にした人にやる気が伝わる・一緒にやりたくなるような企画シートになります。

②プログラムの内容

地域の宝（「子ども」「食」「地域の歴史」など）を真ん中に置くことが大事。宝のまわりには常に人が集まります。そして、現場がイメージできるよう小さく始めることで地に足のついた内容になります。

③周辺の反応

たくさん突っ込まれた企画は見込みがあると思うこと。アイデアを思いついたら迷わず書いて、いろいろな人に読んでもらうことで気づきを得ることができます。

■ 「グループ別相談タイム」



第4講から書き進めている「夢プラン」について、グループごとに山路さんから事例も交えた個別アドバイスをもらいました。グループでプランのテーマが同じなので、自分以外の受講生に対してのアドバイスを聴くこともとても学びになる時間でした。山路さんからは、多くのアイデアやアドバイスがあり、プランの完成に向けて大きな手助けとなりました。

■ 「夢プラン作成ワーク」



「夢プラン」の完成を目指し、個人・グループワークを行いました。ワークの中では、受講生同士でプランの内容を発表し合い、意見を交わすことでプランをブラッシュアップすることができました。

また、第1～3期までの卒業生にも参加してもらい、地域活動の先輩方からアドバイスをもらいました。卒業生ならではの視点でのアドバイスは、受講生にとって良い刺激となりました。

参加者のみなさんがプランをより良いものにするために考えてくれるので、一人きりではない、応援してくれる仲間がいると心強い気持ちになり、全員でプランの完成を目指すことができました。